



244
20



ケ
ニ
子
ジ
ー
氏
ヨ
リ
横
濱
高
法
會
議
所
會
長
へ
送
リ
シ
書
翰
寫

大
大
隈
正
十
一
年
四
月
贈

二月二十六日付貴書并同月三日高法會議所集會、決
議寫正ニ落掌貴下ノ意見ニ由レハ曰ク日本流通紙幣
相庭下落ノ原因ハ之ヲ十月十一月十二月ノ輸出貿易
高超過ノ跡ニ照シ見ル片ハ決シテ輸出入不平均ニ歸
スヘカラサル趣何トナレハ右数月間ニ於テハ常ニ輸
出ノ超過甚々大ナルニ拘ハラズ相庭ハ頻ニ下落シ
來更ニ恢復ノ勢ナキヲ見レハナソト
貴下ノ依頼ニ任セ即チ貴書ノ寫ヲ大隈閣下ニ轉達セ
リ閣下ハ現今大蔵卿ノ職ニハ居ラレスト虽氏実ニ會
計部主管參議ノ要職ニ居ラル、ヲ以テ閣下ハ拙者ノ

879



書翰ニ答ヘテ左ノ通り其意見ノ大畧ヲ述ヘラレタリ
日本紙幣ノ下落ハ畢竟過ル十年間ニ於テ外國人カ輸
入セシ商品ノミナラス政府カ自カラ海陸軍及ヒ錢道
電信燈臺製作所等ノ諸事業ヲ創設セン為メニ海外ヨ
リ諸機械ヲ買入シカ為メ國內正貨并ニ金銀塊大ニ外
出セシニ由ルナリト閣下又拙者ニ統計表ヲ示シテ曰
ク千八百七十二年ヨリ千八百八十一年一月ニ至ル期
内ニ於テ正貨并ニ金銀塊ノ輸出過ハ金貨ニテ殆ント
六千七百万圓ノ價格ニ昇レリ右続々タル正貨ノ外出
ハ數年ノ間一日ノ如クナリシカ故ニ外國品ヲ購求ス
ルニ必要ナル金額殆ント盡キ随テ竟ニ内國ノ購買力
ヲシテ粗生物及ヒ製造物ノ輸出價格丈ケニ減縮セシ
ナリ之ニ由テ之ヲ觀レハ貿易ノ發達カ此ニ中止セシ

ハ現數ノ當ヤニ然ルヘキ所ナルノミト
大隈閣下又曰ク目今ノ貿易衰頹ハ其原因帝ニ正金外
出ノ故ノミナラス過半ハ必ス千八百七十九年六月以
降外國物貨ノ輸入非常ニ巨量ニシテ其市場ニ氾溢ス
ル高内國消費用ノ需要高ト權衡ヲ失ナヘルニ在ラン
且閣下モ亦輸入者ト同様ニ今日實見ノ狀況ヲ患ヘサ
ルニアラスト虽モ如何セン現今市場ニ氾溢スル所ノ
貯蓄高カ貿易ノ常法ニ由リテ消費ノ門ニ入ルノ外ハ
他ニ醫治ノ施スヘキ良策ナシト

